

○後藤守議長 次， 8 番菊池伸也議員の発言を許します。

〔8 番 菊池伸也議員 登壇〕

○8 番（菊池伸也議員） 議長から発言のお許しをいただきましたので， 通告のとおり少子化・人口減少対策事業について質問いたします。

本市の少子・高齢化が加速度的に進んでいることは， 皆さんがご承知のとおりであります。第5次総合計画後期基本計画策定の際のまちづくりに対する意識調査におきましても， 少子・高齢化， 人口減少対策や， 医療・福祉の整備， 企業誘致， 勤労支援等を最重点施策として求める声が民意としての上位を占めていたことも事実であります。第5次総合計画の重点戦略として， 少子化対策や人口減少対策がさまざまな施策として取り組まれていることは承知しておりますが， 現実的になかなか結果としての数字にあらわれてこないことも事実であります。そうした状況下において， 少子化・人口減少対策事業の一環として取り組まれております結婚推進事業と人口減少対策についてお伺いいたします。

最初に（1）の結婚推進事業についてであります。①の結婚推進事業の追跡調査について2点お伺いいたします。

1点目につきましては， 毎年男女の出会いの場として数回の交流会や結婚を希望する親の集いなどが結婚推進事業として実施されております。常に交流会の企画内容や場所の設定等の工夫をされているようでありますが， 今までに実績としては何組ぐらいのカップルが誕生し， ゴールインされたのかお伺いをいたします。

次に， 2点目としまして， 今年青年会議所の主催により「街コン」が開催されておりますが， 大変素晴らしい企画での実施だったと思います。そこで， このイベントの企画内容と成果についてはどうであったのかお伺いをいたします。

続いて②の結婚相談センター開設からの結果を2点お伺いいたします。1点目については， 年々男女の登録利用者が増えているようでありますが， 現在までに利用者でどのぐらいのカップルが結婚されたのかお伺いいたします。2点目は， 男女の登録利用者の年代層の傾向については， どのような状況となっているのかお伺いをいたします。

続いて（2）， 人口減少対策についてであります。①の空き家を有効利用した外部からの体験入居について2点お伺いいたします。

1点目については， 今年3月の定例会の一般質問で， 空き家の適正管理に関する条例の制定について質問をいたしましたが， その際の執行部のご答弁で， 「空き家の有効利用を視点に加え， 本年度中の条例制定に向けて取り組んでまいります」と大変前向きな答弁をされております。

そこで， 空き家の有効利用の事例を1つご紹介いたしますと， 現在はやっておりませんが， グリーンふるさと振興機構において取り組み実績を上げていた事業に空き家の体験入居があります。それは， グリーンふるさと振興機構において空き家を借り受け， 都市圏に住んでおられる方にご紹介して一定期間住んでいただき， 田舎暮らしを体験し， 気に入ったら購入していただき本市に移り住んでいただくというものであります。そこで本市においても人口減少対策の一環として， 空き家の有効利用としての観点からもこのような事業に取り組んでみてはどうかと思いますが，

執行部のお考えを伺います。

2点目としましては、体験入居で外部から移住された方たちが定期的に会合を開き、情報交換をされているとこのことであります。しかしながら、市とのつながりが全く持てないということでありまして、ぜひ相談窓口をつくってほしいと望まれているようであります。執行部としてどのように考えておられるのかお伺いいたします。

以上で1回目の質問を終わります。

○後藤守議長 答弁を求めます。政策企画部長。

〔佐藤啓政策企画部長 登壇〕

○佐藤啓政策企画部長 結婚推進事業のご質問にお答えをいたします。結婚推進事業につきましては、より効果的な事業展開を図るため、平成19年からそのノウハウ、実績を有する市内のNPO法人「グリーンピュア常陸太田」に委託をして、年に6回程度の交流事業を実施しております。具体的には、そば打ち体験を活用した交流会、陶芸体験を通じた交流会、クリスマスパーティーなどを開催しており、募集に関しましては県の出会いサポートセンター等と連携して、県内から広く参加者を募集しております。

これまでに延べ1,061人の男女が参加して128組のカップルが誕生しておりますが、これら誕生したカップルに対しましては、その後結婚相談センターの2名の相談員がおつき合いの進展ぐあいなどの情報収集を個別に行い、相談やアドバイスなどの支援を継続することなど、その後のフォローアップを行うことにより、平成24年11月までに28組が結婚まで至った旨の報告をいただいております。

また、街コンの内容と成果についてのお尋ねでございますが、本年10月26日に、廃校となりました旧瑞竜小学校と市内飲食店を舞台に、「O t a コン」と題しまして市内で初めて常陸太田青年会議所の主催により街コンが開催されました。他の多くの地域で実施されている多くの街コンが飲食店振興の意味合いが強くなっている中、常陸太田市で行われた街コンは男女の出会いを第一の目的に実施されておまして、イベントの最終段階において10組のカップルが成立したと伺っておりますが、その他にもカップル成立とまではなりません、お互いに連絡先の交換が行われるといったケースなどもあったと承知しております。

続きまして、結婚相談センター「YOU愛ネット」の開設時からの成果についてのご質問にお答えいたします。平成22年8月に開設いたしまして、それ以降、火曜・日曜日を除く週5日間開設しまして、月・水・土曜日の3日間を相談日とし、それぞれ専任の相談員が常駐いたしまして、面接や電話による結婚相談はもとより、登録会員などのお見合いのセッティング、なかなか結婚に至らない子どもさんを持つ親御さんからの相談会の開催など継続的に取り組んでいるところでございます。

平成24年11月末日時点での登録会員数は、男性が205名、女性が107名。年代別で見ますと20代が16名、全体の5%、30代が148名で全体の47%、40代が110名、同じく35%、50代以降が38名、同じく12%で、30代から40代の登録者が多くなっている状況です。また、これまでの成婚数に関しては、先ほど申しましたように、平成24年末日に

において28組が結婚に至ったということでございます。課題といたしましては、女性会員の増と年代間の偏在の解消というところがございます。

なお、先ほど申しました結婚推進事業であるお見合いパーティーに参加いただいた方には、結婚相談センター「YOU愛ネット」への登録を積極的にお勧めしているところでございます。

以上でございます。

○後藤守議長 産業部長。

〔井坂孝行産業部長 登壇〕

○井坂孝行産業部長 人口減少対策事業について、空き家を有効活用した外部からの体験入居についてのご質問にお答えいたします。

議員ご発言がありましたグリーンふるさと振興機構の「おためし田舎暮らし事業」につきましては、これまで本市も情報交換などの連携を図りながら進めてきたところであり、平成19年度から13件、延べ20人の利用者がありました。なお、グリーンふるさと振興機構の業務整理により、平成23年度末で事業終了となっております。終了後も空き家に関する問い合わせが多くあることから、現在、市内不動産業者等と情報交換をしながら対応しているところであります。

今後におきましては、空き家の有効利活用に都市住民との交流拡大に向けた自治体の参考事例等を勘案しながら、市内の空き家情報を全国に発信できるよう、所有者自らが情報を登録する「空き家情報登録制度」の立ち上げ等を含めて検討してまいります。

続きまして、2点目の外部から移住された方々の相談窓口の要望につきましても、関係部課と協議しながら検討してまいりたいと考えております。

○後藤守議長 菊池議員。

〔8番 菊池伸也議員 質問者席へ〕

○8番（菊池伸也議員） ただいまご答弁ありがとうございました。2回目の質問に移らせていただきます。

最初に、結婚推進事業でありますけれども、ただいまの答弁で交流会での男女の参加者が1,061人、カップルの誕生が今までに128組、結婚に至ったカップルが28組と答弁されておりますが、始まってから大分長い時間がたっております。そういう中で、この数値を執行部ではどのように捉えられているのかお伺いをいたします。

○後藤守議長 答弁を求めます。政策企画部長。

○佐藤啓政策企画部長 結婚推進事業については平成19年より、また、結婚相談センターの「YOU愛ネット」の設置については、平成22年8月よりということになっておりまして、先ほど申しましたカップルの成立数、それから成婚数がこれまでやってきた成果としてどうなのかというご質問でございますが、一般論としまして、男女が出会って結婚するという極めてプライベートな意思決定に行政としてどのようなサポートができるのかという非常に難しい問題でございます。継続して取り組んでいきまして、いかにこの成婚の数を増やしていくかということを感じております。現時点において、これが多いのか少ないのかという判断はなかなか難しいと思っておりますが、増やしていくような努力をしていく必要があるのかなと考えております。

○後藤守議長 菊池議員。

○8番（菊池伸也議員） ありがとうございます。

確かに増やしていかなければならないことはそのとおりであります。それをどうのご努力をされるのかなということでもありますけれども、そこで交流会の回数を増やす、あるいは交流会の内容ですか、いろいろと検討される必要があるのかなと思います。そういう中で、この交流会での経費についてはどんなふうな扱い方をされているのかお伺いをいたします。

○後藤守議長 答弁を求めます。政策企画部長。

○佐藤啓政策企画部長 この経費についてはどうかというご質問がございましたけれども、結婚推進事業、それから先ほど申しました「YOU愛ネット」での結婚相談の事業については、市からの委託事業としてそれぞれのNPOをお願いをしているということでございます。

○後藤守議長 菊池議員。

○8番（菊池伸也議員） 毎年9月に事業の成果報告が上げられております。その中にNPOグリーンピュアですか、ここに委託をされているわけですが、その中で相談員の方、あるいはサポートされる方、どのぐらいのメンバーでやっておられるのかお聞きしたいんですが、よろしくをお願いします。

○後藤守議長 答弁を求めます。政策企画部長。

○佐藤啓政策企画部長 相談員については2名ということになっております。

○後藤守議長 菊池議員。

○8番（菊池伸也議員） 2名ですか。

そこで交流会あるいはサポートするために「いばらき出会いサポートセンター」との連携もとられていると思いますけれども、結婚相談員やサポートする方のスキルアップについてはどのような方法で参加されているのかお伺いをいたします。

○後藤守議長 答弁を求めます。政策企画部長。

○佐藤啓政策企画部長 相談員の方のスキルアップということですが、一定のスキルがある方を既に雇用しているという状況になっております。

○後藤守議長 菊池議員。

○8番（菊池伸也議員） そうすると市のほうで、例えば交流会の内容等に助言したり、結婚相談センターへの助言など、一切かかわりは持っていないわけですか。

○後藤守議長 答弁を求めます。政策企画部長。

○佐藤啓政策企画部長 交流会の内容に関しましては、もちろん市でかかわりを持ちながらどういった内容にするのかということについて調整させていただいております。年6回開催させていただいております。先ほど申しましたそば打ちの体験ですとか、クリスマスパーティー、先ほどは笠間焼の部分を紹介しましたが、それ以外にも複数やっておりますが、毎年同じというわけにもいきませんので、もちろん継続してやるもの、それから内容を変えてやるものがございますけれども、それは市としてもかかわりを持ってやらせていただいております。

○後藤守議長 菊池議員。

○8番（菊池伸也議員） わかりました。いろいろな形で企画を変えたりしないと参加者のほうがマンネリ化して登録もしてくれないんじゃないかと思います。今までの3年間の成果報告を見てもみますと大体似たような集まりになっているようでありまして、内容によって参加者が多かったり少なかったり、あるいは女性が極端に少なかったりというのがあるので、ぜひ、できるだけ多くの人が参加できるようなことを今後とも取り組んでいただきたいと思います。

そこで私、提案なんですけど、婚活に関しては過疎地なんかになりますとどこでも困っているような状況であります。そういう中でテレビ東京ですか、これはバラエティ番組なんですけど、「もてもてナインティナイン」というのがありまして、その町、あるいは市全体でバックアップして、テレビ局と連絡をとりながら全国から女性の方を集めるような番組なんですけど、大変ユニークなやり方でやっております。ぜひ、そういうことも参考にされたり、その番組を常陸太田市でも交流会の一環として取り組んでみてもいいんじゃないかなと思いますけど、執行部のお考えをお伺いいたします。

○後藤守議長 答弁を求めます。政策企画部長。

○佐藤啓政策企画部長 テレビのバラエティ番組などについても積極的に活用してはどうかというご質問でございますが、交流会の1つとしても意味があるという考え方もありますし、また、市の取り組みなどをPR、発信するという手段としても有効かと思っておりますので積極的に対応したいと考えております。

○後藤守議長 菊池議員。

○8番（菊池伸也議員） ぜひ、よろしくお願ひしたいと思ひます。

もう一点、街コンのことについてお伺ひしたいんですが、街コンはたった1回しかやっていないんですが、10組のカップルが誕生したと。大変すばらしいなと思ひます。そこで、今後の街コンに対する取り組みをどんなふうにお伺ひしているのかお伺ひしたいと思ひます。

○後藤守議長 答弁を求めます。政策企画部長。

○佐藤啓政策企画部長 10月26日に開催されました[O t aコン]につきましては、常陸太田市青年会議所の主催ということになっております。街コンの実施後、今後の方針について若干意見を伺っておりますけれども、今のところ常陸太田青年会議所で予定はないというふう聞いております。

○後藤守議長 菊池議員。

○8番（菊池伸也議員） わかりました。青年会議所に働きかけて、今後1回でも多くやっていたらと思いますので、これはぜひ執行部のほうからお願いしてもらいたいと要望しておきます。

次に、結婚相談センターの登録者でありますけれども、非常に女性が少ないのと年代でばらつきがあります。この辺を執行部ではどんなふうにつまえているのかお伺ひいたします。

○後藤守議長 答弁を求めます。政策企画部長。

○佐藤啓政策企画部長 先ほどご答弁しましたように、その点が課題と認識しておりまして、その偏在を解消していく必要があるのかなと。また、女性の人数をさらに確保していく必要がある

のかなと考えております。

○後藤守議長 菊池議員。

○8番（菊池伸也議員） ぜひ、そういう課題に積極的に取り組んで解消していただきまして、そして一人でも多くのカップルが誕生するようなことになればいいなと思います。

次に、人口減少対策についてであります。これについては私が先ほど申し上げましたように、空き家の適正管理に関する条例の制定について質問したときのことを考えて、有効活用の一環として申し上げたわけですが、そのときに大変前向きに答弁されておりますので、ぜひ空き家の有効活用……、私が言ったのは有効活用の1つですけれども、いろいろとあると思いますので、その辺を検討し条例改正に向けて取り組んでいただくことを要望して、私の一般質問を終わらせていただきます。